

拠出金名: 国際連合環境計画国際環境技術センター拠出金

国際機関等名	国連環境計画国際環境技術センター (英文名称・略称) United Nations Environment Programme/ International Environmental Technology Centre (UNEP/IETC)				
種 別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	環境省地球環境局国際連携課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成21年度	90,938	883		1米ドル = 103円	100
平成20年度	99,767	883		1米ドル = 113円	100
平成19年度	102,415	883		1米ドル = 116円	100
当該拠出金の目的・用途等	事務局経費				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2009年のもの)				国際機関等の財政 (2008-09年度決算)	
	国 名	金額 (千ドル)	拠出率(注1) (%)	当該年度の収入	5.2百万米ドル
1位	日本(注2)	1,883	65.0	当該年度の支出	4.1百万米ドル
2位	UNEP	1,000	35.0	次年度への繰越	1.1百万米ドル
3位				会計検査機関名	
4位				国連会計検査委員会 (UN Board of Auditors)	
5位				(現在の構成員の出身国: 南ア、英、中)	
当該機関等に対する我が国としての評価 (合理化、機能強化のための改革が行われているか、当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
<p>・本センターは、我が国に位置する有利性を最大限活用し、我が国の環境技術や経験を活用しつつ、途上国等に対する環境上適正な技術の移転を促進するための事業を実施しており、我が国の環境技術の国際競争力の向上につながっている。</p> <p>・また、我が国が進める3R(廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用)イニシアティブ及び産業開発と環境管理を連携させたエコタウン構想を活動の中心と位置づけ、アジア地域を中心にプロジェクトを積極的に実施し、アジア地域での3Rイニシアティブの推進に貢献。</p> <p>・さらに、イラク復興支援の一環として、イラク南部湿原管理プロジェクトを実施し、湿原の環境回復及び現地住民に対する飲料水や衛生設備の提供に貢献し、イラクや国際社会から高い評価を得た。</p>					
邦人職員数	4 人	当該機関全体の職員数	10人		
うち幹部以上	うち 1 人	及び邦人職員が占める率	40.0%		
邦人職員が占めている幹部ポスト(注3)					
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考	
所長		中村武洋			
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
在ケニア大使館を通じ、空席情報を入手するようにしている。					

(注1) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。

(注2) 日本の拠出額は、外務省、環境省の拠出を含む。

(注3) 2010年6月30日現在